



大学機関概要

- 代表者 / 三浦 友史
- 所属 / 地域防災実践研究センター
- 専門分野 / 防災、減災
- Email / chiiki@jcom.nagaokaut.ac.jp
- 担当者 / 竹樋 佑紀

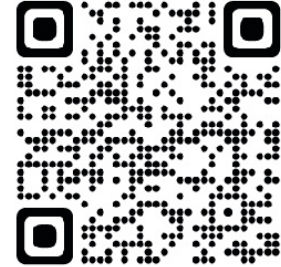
長岡技術科学大学 地域防災実践研究センター
— 「達人の技」伝承支援システム

TEL:0258-47-9391/ FAX:0258-47-9900
<https://www.nagaokaut.ac.jp/center/chiikibousai/index.html>
〒940-2188

長岡市上富岡町1603-1

こんな組織と繋がりたい

- 人材育成の教育・コンサルティング事業をサービス提供する企業・団体



PR 販路 産学 情報 人材 『達人の技』伝承支援システム

▶ 研究内容の特徴

多くの業界において防災・安全にかかる組織の技術継承は大きな課題となっていて、マニュアル記述よりも経験ノウハウ等の役割が大きい、それらは個人の経験知に留まるケースが多い。本研究では、従来のリスクを減らす安全対策（Safety-I）だけでなく、危険発生時に柔軟に対処できる能力を伸ばす考え方の成功を増やす安全（Safety-II）に着目して「達人の技」を見つけ、全体像をFRAMにより構造記述して重要な役割を果たす活動を抜き出し、条件を変化させたケーススタディにより達人の隠れた能力を引き出して、能力獲得プロセスを形式知化して人材育成に活かす伝承支援技術を確認させた。

▶ 技術アピール・マッチングニーズ

- 業務や災害対応で発揮された"達人の技"を形式知化して共有財産にできる
- "達人の技"を基にしたワークショップにより実践に即した人材育成ができる

ココがスゴい！

「実事例」の技術伝承：3つのレベル

レベル1：OJTで教える（口頭、武勇伝、背中を見て…）



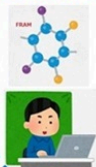
- ✓ 職人さん、伝統芸能の類い
- ✓ 伝えきれなかったり、体得出来なかったり

レベル2：文書等で残す（PPT、ドキュメント（メモ、事故報告書）、マニュアル類）



- ✓ 企業組織などで一般的
- ✓ 何を感じるかはそれぞれ（重要なキモは何？）
- ✓ 資料を読み込む学習（リモートワークに不向き）

レベル3：形式知化して展開（FRAMの活用、データベースによるDX化）



- ✓ 体系的に整理（共通因子、他との比較）
- ✓ 「達人の技」を形式知化
- ✓ 事例の伝承から「技」の伝承へ



「達人の技伝承研修」開発のステップ

